

新潟県

# 教育月報 11月号

第754号  
平成24年11月1日発行  
編集人、発行人  
新潟県教育委員会

## <今月号の記事>

- 1 : 平成24年度末・平成25年度初 人事異動について ----- P 1～4
- 2 : 「2012北信越かがやき総体」開催報告 ----- P 5～8
- 3 : 県立図書館 授業に役立つサービスのご紹介 ----- P 9

## 平成24年度末・25年度初 人事異動について

義務教育課・高等学校教育課

地域とともに歩む  
特色ある学校づくりに向けて  
義務教育課

### はじめに

県教育委員会では、地域に根ざした教育が一層確かなものとなるよう、できるだけ教職員の自宅からの通勤が可能となる地域への人事配置を進めています。

しかし、全県的に見ると、教職員の居住地が都市部に集中する一方で、教職員の確保が困難な地域が存在するという現状があります。

このため、県全体の教育水準の維持・向上を図り、すべての地域の児童生徒に平等な公教育を保障するため、教職員から等しく、教職生活の一時期に、遠方の地域に勤務してもらわなければなりません。

県教育委員会では、このような考えに基づき、自宅所在地を考慮しつつ全県的視野に立った人事異動を行うこととします。

### 人事異動方針

- 1 学校に清新な気風を導入するため、情熱と行動力あふれる新人を採用します。
- 2 学校に新しい風を入れ、創意あふれ活力のある学校運営を行うことができるようにするため、全県的な視野に立って人事異動を行います。
- 3 同一学校、同一地域の長年勤続教職員の解消を図ります。

今年度の人事異動方針に大きな変更はありません。以下に異動基準等を示します。

ません。以下に異動基準等を示します。

### 異動基準

#### 1 市町村立小・中・特別支援学校教職員の転配置

##### (1) 異動基準

下表のとおり年齢区分に応じて勤務地を経験することになっています。

年齢区分	勤務地
採用後6年間 (原則として 2か校目まで)	原則として、C地域1回、 D地域1回 平成20年度採用者からは、 C地域又はD地域1回以上とする。
3か校目以後 ～49歳	B地域1回、C地域又は D地域1回
50歳以上	これまでの勤務地を勘案して行う。

※表中の「1回」とは3年以上の勤務をいいます。

※AからDまでの各地域は、次のとおりとします。

- A地域 自宅から通勤容易な地域
- B地域 自宅から通勤可能な地域
- C地域 自宅から通勤困難なひら場地域
- D地域 自宅から通勤困難なへき地地域

※「自宅」とは次に該当するものをいい、本人の申告に基づき、県教育委員会が決定します。

- 本人の所有又は所有見込みの住居
- 長期にわたって居住し、又は居住しようとする借家
- 上記以外の場合は、親又はこれに代わる者の住居

なお、C地域勤務が続いている者については、「自宅」の実態を精査した上で、第1回人事異動会議の際に勤務地区分を決定します。



(2) 計画的な転配置

原則として、同一校に3年以上勤務することとし、県教育委員会が異動が適当と認める者について、前記(1)の「異動基準」により計画的に転配置します。

なお、同一校に7年以上勤務した者は、原則として転配置します。また、A地域に引き続いて2回勤務した者は、A地域以外に転配置します。

(3) 教職員の適正配置

性別、年齢、勤務年数、所有する教員免許状の種類等に配慮して、地域、学校間に不均衡が生じないような配置に努めます。

ア 新採用者の計画的な転配置

- (ア)平成20年度以降に採用された教職員の採用後6年間の勤務校は、原則として、1か校3年間の勤務を2か校行い、C又はD地域1回以上とします。
- (イ)平成19年度までに採用された教職員の採用後6年間の勤務校は、原則として、C地域1回、D地域1回とします。
- (ウ)採用後6年間勤務後、再びC又はD地域に異動し、3年以上勤務した者は、A地域又はB地域に転配置します。

イ 特認地域及び教員確保困難地域等での中堅教員の確保

- (ア)特認地域\*及び教員確保困難地域等での優秀な中堅教員の転配置に努めます。
- (イ)特認地域\*に自宅を有する教職員は、特認地域内のB地域勤務をもって、C又はD地域勤務と認めます(原則として、採用2か校目までは除きます。)

※特認地域

小千谷市	十日町市	魚沼市
南魚沼市	湯沢町	津南町

ウ 全県の視野に立った人事交流の促進

原則として、採用後6年間勤務後には、少なくともB地域に1回、C又はD地域に1回、転配置します。

エ 異校種間の人事交流の促進

小・中学校と特別支援学校間の人事交流及び小学校と中学校間や中学校と高等学校間の人事交流を図ります。

オ 県と新潟市との人事異動

平成24年度初の県と新潟市との異動規模は約150名でした。平成25年度初も、希

望者数に応じた規模で、県と新潟市と人事異動を予定しています。

2 県立特別支援学校教職員の転配置

異動基準は市町村立小・中・特別支援学校教職員に準じますが、前記1(3)エに「障害種の異なる学校間の人事交流」が加わります。

今年度の人事異動について

1 異校種間の人事交流の促進

(1) 小・中・特別支援学校間の交流(⊗登録)

3年間を原則として、他の校種で勤務することにより、中1ギャップの解消や特別支援教育のリーダー育成に資することを目指します。⊗勤務終了後は、C地域勤務3年を終了したものと認めます。

(2) 小中交換研修・中高交換研修

同一市町村内で、1年間在籍校を離れて他の校種で勤務することにより、異校種連携に資するための研修を行います。交換研修終了後はB地域勤務3年を終了したものと認めます。

2 円滑な人事異動作業の実施

(1) 県と新潟市との人事異動

今年度末時点での新潟市転入希望者の動向の把握を行いますので、現時点の希望の有無と転入希望年度を所属長にお伝えください。また、今年度初めて新潟市採用者が「研修交流異動制度」で市外へ異動し、原則3年間の県勤務を行います。

(2) 人事情報の電子データ化

今年度、人事情報データを電子化して、提出書類を容易に作成できるようにしました。入力した電子データは、所属長及び各教職員がそれぞれ保管し、年度更新をして使用することになります。また、異動希望等は、校長がヒアリングを確実に実施し、各教職員の希望を十分把握するよう、手書きで記入します。

おわりに

人事異動については、全体の奉仕者としての自覚と使命感をもって受け止め、校長の説明や人事異動のリーフレットなどを参考に、異動基準に基づいたライフプランを設計してください。

今年度も、公正かつ厳正な人事異動が進められるよう御理解をお願いします。



## 「特色ある学校づくり」 の達成のために 高等学校教育課

### はじめに

高等学校（県立中学校、県立中等教育学校、県立特別支援学校、新潟市立高等学校・中等教育学校を含む）の教職員の人事異動については、「新潟県立高等学校教職員人事異動方針及び基準」に基づいて行います。

高等学校では、生徒から選ばれる学校づくりを進めるため、各学校の「特色ある学校づくり」に向けた取組が行われておりますが、このような取組を進めるためには、各学校における教職員組織の刷新や教育活動の活性化を図ることが必要です。県教育委員会は、教職員の人事異動を積極的に行うことによって、この「特色ある学校づくり」をさらに推進していきます。

### 人事異動方針

- 1 優秀な新人を採用し、清新の気風を導入します。
- 2 教職員の適正な配置により、教職員組織を刷新します。
- 3 全県的視野からの人事異動を促進します。

### 異動基準

異動基準を、次の三点について具体的に定め、人事異動を促進します。

- 1 新人の起用
- 2 教職員の適正配置
- 3 辞職に対する措置

### 人事異動の方法

本県高等学校の所在地と学校の課程・学科の分布をもとに、地域と学校群を次のように区分し、人事異動の方法を下のように定めています。

- 全県を7地域に、また、全県の学校を

A、Bの2群に区分しています。

- A群は主に、定時制、通信制、分校、特別支援学校、中高一貫教育校、地域的特性のある学校で、B群はそれ以外の学校としています。

### <人事異動の方法>

- (1) 全県を7地域に区分し、3地域以上を経験する。
- (2) 全県の学校をA、Bの2群に区分し、A、B群をそれぞれ1回以上経験する。
- (3) 新採用後6年間については次のように勤務する。
  - ア 新採用後1校目は2年間の勤務とし、その後2校目に異動する。
  - イ 新採用後2校目は4年間の勤務とし、その後3校目に異動する。
  - ウ 他県の教職経験者等は、上記アの1校目を経験したものとみなし、1校目は4年間の勤務とし、その後2校目に異動する。
- (4) 新採用後3校目以降の者<sup>\*</sup>については、同一校同一課程（以下「現任校」という。）に原則として3年以上勤務した者を異動の対象とする。
 

<sup>\*</sup>平成16年度以前の採用者については2校目以降の者に適用する。
- (5) 現任校に8年以上引き続き勤務する者は、「特別の事情」の適用等がなければ確実に異動させる。

なお、同一市町村勤務が長期間に及ぶ場合は異動させるものとしています。

また、異動方法の特例は定めません。専門教育に関する各教科・科目等を担当する教諭、実習助手及び養護教諭については、配置できる学校数や1校あたりに配置できる人数等を考慮して、異動させるものとします。

### 具体的推進方法

#### 1 人事異動調査票について

各教職員が異動に関して、次年度へ向けた決意や目標、自分の考え等を具体的に記載できるようにしてあります。この記載内容は、「特



色ある学校づくり」を推進し、適材適所の人事配置を行うための重要な資料として活用します。

## 2 地域と学校群について

教職員一人一人の力量を高めるためには、異なる地域や異なる課程・学科等を幅広く経験することが必要です。また、本県の教育水準の維持・向上と教育の機会均等を確保するためには、広域的人事交流によって、教職員の適正配置を図る必要があります。このことから、人事異動の方法に則り、積極的に人事異動を進めます。

なお、新採用からなるべく早い段階で、3地域以上の経験、並びにA群及びB群の経験ができるよう人事異動を進めます。

## 3 過員について

少子化に伴う学級減の傾向から、本年度末においても、多数の教員が過員対象となる見込みです。定数上または教科上の過員は必ず異動させることとしています。

## 4 本年度の人事異動の重点

- (1) 平成17年度以降の採用者で<人事異動の方法>の(3)に該当する者は異動させます。
- (2) 平成16年度以前の採用者で新採用以来現任校6年以上の者は異動させます。
- (3) 実習助手については、新採用以来現任校8年以上の者は異動させます。
- (4) <人事異動の方法>の(5)に該当する者は異動させます。

## 県と新潟市との人事交流

これまでと同様に、県と新潟市の人事交流を行います。新潟市立高等学校・中等教育学校の教員の人事異動については、県と新潟市で協議して実施します。

## 「特色ある学校づくりに係る資料」について

全県の公立高等学校（県立中学校、県立中等教育学校、高等学校籍の教員が在職する県立特別支援学校も含む）のWebページには、各学校の「特色ある学校づくりに係る資料」が

掲載されています。また、この資料は、冊子にして全県の公立高等学校（同上）に配付されています。ここには、各学校がどのような学校を目指しているか、また、どのような教員を求めているのかがまとめられています。

異動の際に、教職員一人一人が自分の力量をどのような学校で発揮することができるかを知る上で参考となる内容ですので、各学校の資料をぜひ閲覧してください。

## おわりに

学校教育を活性化し、本県教育水準の向上を図るためには、教員一人一人の力量を高め、各学校での「特色ある学校づくり」を進めることが必要です。そのため、「新潟県立高等学校教職員人事異動方針及び基準」に則り、適材適所の適正な配置となるよう、厳正・公正かつ積極的な人事異動を行いますので、人事異動に関する一層のご理解をお願いします。

## インフォメーション

### ●中学生リーダーシップ研修

参加生徒間の交流を深め、KJ法等を用いた生徒会行事の企画立案や運営の模擬体験をとおり、リーダーとしての資質の向上を図る。

◇期日 平成24年12月25日（火）～27日（木）  
2泊3日

◇会場 県立青少年研修センター

◇対象 県内中学校に在学する次期生徒会役員

◇定員 120名 ◇費用4,100円（予定）

◇研修内容 アイスブレイキング、グループワークトレーニング、ブレインストーミング、KJ法の体験、企画立案・運営

◇申込期限 平成24年12月7日（金）

### ●高校生リーダーシップ研修

参加校間の情報交換や行事企画の実習をとおり、リーダーとしての在り方を学ぶとともに、リーダーとしての資質の向上を図る。

◇期日 平成25年1月26日（土）～27日（日）  
1泊2日

◇会場 県立青少年研修センター

◇対象 高校生

◇定員 100名 ◇費用2,300円（予定）

◇研修内容 アイスブレイキング、グループワークトレーニング、企画立案

◇申込期限 平成24年12月17日（月）

■リーダーシップ研修のお問い合わせ、申込先  
県立青少年研修センター

〒953-0012 新潟市西蒲区越前浜5597-1

TEL (0256) 77-2111 FAX (0256) 77-2114

Web<http://www.pref.niigata.lg.jp/seisyounen/>

E-mail [ngt503030@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt503030@pref.niigata.lg.jp)



## 平成24年度全国高等学校総合体育大会 「2012 北信越かがやき総体」開催報告

保健体育課

### 49年ぶりの新潟県開催

新潟県で夏の開催としては49年ぶりとなる平成24年度全国高等学校総合体育大会「2012 北信越かがやき総体」を北信越ブロックで開催しました。

新潟県では、総合開会式と13競技、北信越各県で4競技ずつ実施し、7月28日（土）～8月20日（月）の24日間の会期で開催しました。



【総合開会式激励会場での集合写真】

### 総合開会式

総合開会式は、7月28日（土）午前10時より朱鷺メッセ新潟コンベンションセンターで開催しました。

開催にあたっては、皇太子殿下の御臨席を賜り、都道府県役員・選手団約1,600名、招待者約740名、一般観覧者（公募による抽選）約730名、運営役員・補助員約600名、出演関係者約480名、報道関係者約140名の総勢約4,300人が参加しました。



【総合開会式全景】

役員・選手団の入場は、バトントワリングとダンスを先導に、式典音楽隊の演奏のなか力強くはつらつとした行進が行われました。



【先導隊（バトントワリングとダンス）】

演奏曲は、新潟にゆかりのある「佐渡おけさ」や「天地人～オープニングテーマ」などを使用し、選手団を温かく新潟にお迎えする気持ちを伝えました。



【音楽隊（合唱隊・吹奏楽隊）】

進行は、昨年度の選考会で選出された8名の生徒が担当し、これまでの研修会の成果を発揮して、緊張の中、スムーズな進行を滞りなく務めました。



【式典アナウンサー】

歓迎演技では、県内高校生によるマーチングバンドとダンスの演技を披露しました。

マーチングバンドでは、北信越の豊かな自然をイメージした中に、高校生の満ち溢れるエネルギー感を、ポピュラーソングを使用し表現しました。



ダンスでは、新潟県にゆかりのあるテーマ（佐渡おけさ、チューリップ等）を4部構成にし、最後は“新潟の夏”を彩る「花火」をイメージした180人による華やかで圧巻の演技を披露しました。



【歓迎演技 マーチングバンド】



【歓迎演技 ダンス（佐渡おけさ）】



【歓迎演技 ダンス（花火）】

その他の演出として、式典前の会場スクリーンに、北信越5県の高校生が制作した高校生活動や開催地の紹介映像、総合開会式会場レポートのライブ映像等を放送しました。



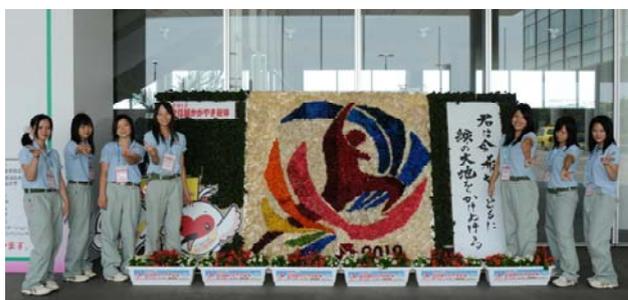
【会場レポートの様子】

また、朱鷺メッセ入口や通路、会場周辺を県内農業高校で育てた「友情の花」であるサ

ルビアやマリーゴールドなどのプランターや草花立体装飾で彩り、おもてなしと歓迎の意を表しました。



【草花立体装飾（高体連マーク）作製の様子】



【草花装飾（シンボルマーク）完成】

会場内には、高校生活動ブースも設置し、開催取組について掲載した年表や広報・歓迎物品等を展示・紹介しました。



【高校生活動ブース】

## 高校生活動

前述の総合開会式はもとより、大会開催にあたっては、開催準備・運営補助に多くの高校生が取り組みました。

開催期間中は、競技開催地市町村の学校と各開催競技の部員を中心に協力を依頼して、各競技の競技・運営補助員、総合案内所や記録センター・プレスセンターの運営補助員として業務にあたりました。

高校生一人ひとりが各業務に責任をもち、来会された皆さんをおもてなしの心でお迎えし、心に残る大会になるよう一生懸命取り組



みました。

各競技においては、受付や来会者の誘導（駐車場や会場内）等で運営を補助し、競技審判や補助員として競技面でも大会をサポートしました。



【競技会場（受付の様子）】

総合案内所は、競技開催日程に合わせて新潟空港、新潟駅、長岡駅の3箇所に設置しました。各案内所の運営にあたっては、担当校1校を決め、高校生3人一組で3日間程度を交代しながら運営しました。



【総合案内所（新潟空港）】

主な業務として、大会ガイドブックや観光案内等の資料配布、競技会場や宿泊施設等へのアクセス方法の案内、競技日程の紹介等を行った他、空港・駅施設や周辺施設の案内など一般利用者にも対応しました。

また、記録センター・プレスセンターを新潟市内に設け、担当校1校を決めて、高校生4人一組で運営を行いました。

記録センターでは、各競技会場から送られてくる競技結果（ファックス送信）を速報としてプレスセンターへ提供したり、電話での各種問い合わせの対応等を行いました。

新潟県内での開催競技に出場した選手には、高校生活動実施校92校で作製した手作り記念品「希綱-kizuna-ブレスレット」が贈られま

した。



【記録センターでの業務の様子】

この手作り記念品は、高校生活動の愛称「北信越UNION～絆～」の「絆」を「希綱」に変えて、参加する人々が絆で結ばれるための「希望の綱」になればという願いが込められています。また、高校生活動応援隊長「トッキッキ」をビーズの色で表現しています。



【手作り記念品「希綱ブレスレット」】

## 大会成績

「2012 北信越かがやき総体」での新潟県勢の活躍としては、優勝4種目、2位3種目、3位5種目をはじめとして、8位までの入賞が、団体・個人合わせて31種目ありました。

入賞数は、去年の33種目からは減りましたが、去年なかった優勝を含め3位以上の上位入賞が12種目もあったことは、選手の努力の成果が発揮されたことはもとより、県内各校の協力と地元開催による県民の皆様の応援が、選手を後押しした賜物だと思います。



新潟県選手団 入賞一覧

【優勝】

- 登山
  - 男子・団体 新潟県中央工業高等学校
- 自転車競技
  - ロード学校対抗 吉田高等学校
  - ロード(個人) 片桐 善也(吉田③)
- 相撲
  - 個人戦 村松 裕介(海洋③)

【2位】

- ボクシング
  - フライ級 小林 将也(新潟北③)
  - ライトウェルター級 生神 拓也(市立高志③)
- 水泳(飛込)
  - 男子・飛板飛込 長谷川英治(長岡大手②)

【3位】

- 水泳(飛込)
  - 男子・学校対抗 長岡大手高等学校
- 剣道
  - 女子・団体 新潟商業高等学校
  - 女子・個人 武田 真弥(新潟商業③)
- 自転車競技
  - ポイントレース 片桐 善也(吉田③)
- 陸上競技
  - 女子・800m 広田 有紀(新潟②)

【5位】

- 水泳(水球) 柏崎高等学校
- 剣道
  - 男子・団体戦 新潟商業高等学校
  - 男子・個人戦 坂爪 優太(新潟第一③)
  - 女子・個人戦 丸山ゆき乃(新潟商業③)
- 陸上競技
  - 女子・4×100mR 新潟商業高等学校
  - 女子・円盤投 稲家 華奈(村上桜丘③)
- ボクシング
  - ライト級 清野 雅俊(新潟翠江③)
- ウエイトリフティング
  - 94kg級トータル

94kg級クリーン&ジャーク

坂井 陽太(新潟工業③)

- レスリング
  - 120kg級 田村雅人(新潟県中央工業③)
- 水泳(飛込)
  - 男子飛板飛込 荒木 宥人(帝京長岡①)

【6位】

- 水泳(競泳)
  - 女子・200m平泳ぎ 浅野 恵未(長岡大手②)
  - 女子・100m平泳ぎ 浅野 恵未(長岡大手②)
- 水泳(飛込)
  - 高飛込 長谷川英治(長岡大手②)

【7位】

- 陸上競技
  - 女子・円盤投 渡邊可奈子(三条東②)
- 水泳(競泳)
  - 女子・400mリレー 長岡大手高等学校

【8位】

- 水泳(飛込)
  - 男子・学校対抗 帝京長岡高等学校
- 陸上競技
  - 女子・やり投 小島鈴菜(十日町総合②)
- 水泳(競泳)
  - 女子200m個人メドレー 今井万里子(柏崎翔洋中等⑥)



【自転車競技(ロード)表彰式】



# 県立図書館 授業に役立つサービスのご紹介

県立図書館

## はじめに

県立図書館は「電子図書館」サービスについて精力的に取り組み、この一環として平成23年1月から「越後佐渡デジタルライブラリー」を公開し、平成24年3月からは音楽配信サービス「音楽ライブラリー」を開始しました。

いつでも、どこからでも利用できる「電子図書館」を、ぜひ授業でも御活用ください。

## 越後佐渡デジタルライブラリー

県立図書館と県立文書館が所蔵する、上杉謙信以降400年間の新潟県関係歴史資料に加え、市町村立図書館や博物館などの所蔵資料を、「越後佐渡デジタルライブラリー」としてインターネットで公開しています。

キーワードとカテゴリからデジタル画像が検索できるほか、県史の概説や年表などを読みながらデジタル画像を見ることができます。

## 音楽配信サービス「音楽ライブラリー」

当館Webページで「ナクソス音楽配信サービス」を実施しています。これは、インターネットを利用して御自宅のパソコンから、クラシックを中心にジャズ、民族音楽など80万曲を自由に聴くことのできるサービスです。

## 「音楽ライブラリー」のご利用方法

### (1) 県立図書館Webページで「マイページ登録」をして利用する

県立図書館の利用カードを持っている方は当館Webページで「マイページ登録」をすることができます。登録をされた方は、ナクソスの専用IDとパスワードを入力しなくても、音楽配信サービスが利用できます。

### (2) 「マイページ登録」をせずに利用する

① 県立図書館で期限付き「ID/パスワード」レシートをもらいます。

② 県立図書館Webページにアクセスし、ナク

ソスの専用入力画面から「ID/パスワード」を入力してください。

③ 「ID/パスワード」の有効期限は、発行日を含む15日間です。

なお、郵送による申込みでも利用カードをつくることができます。対象は、県内に居住の方、県内に在勤の方、県内に通学の方、県内に帰省地のある学生の方です。

詳しくは、当館Webページを御覧ください。

## 学校への貸出サービス

県立図書館では、学校への図書の貸出を行っています。一般図書であれば、1機関につき50冊まで30日間借りられます。授業等の参考資料として、どうぞ御利用ください。

なお、図書の中には、貸出できないものや貸出期間が短くなるものもあります。また、往復の送料は負担していただきます。

申込方法など詳しくは、当館へお問い合わせください。

県立図書館  
電話 025-284-6001 (代表)  
FAX 025-284-6832  
Webページ  
<http://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/>

インフォメーションは紙面の都合で4ページに掲載しています

※ PDFファイルでご覧の方は、下線部 (Webページアドレス) をクリックすると、直接該当Webページへジャンプしますのでご活用ください。Webページでも御覧ください。バックナンバーも御覧になれます。

「教育月報」で検索!

教育月報



発行所 新潟県教育庁総務課  
所在地 〒950-8570  
新潟市中央区新光町4番地1  
電話 025-280-5587 FAX 025-285-3766  
E-mail ngt500010@pref.niigata.lg.jp  
Web版URL <http://www.pref.niigata.lg.jp/kyoikusomu/>  
\*\*本紙に関する御意見がありましたら、お寄せください\*\*  
<無断転載を禁ず>